

2022年7月22日

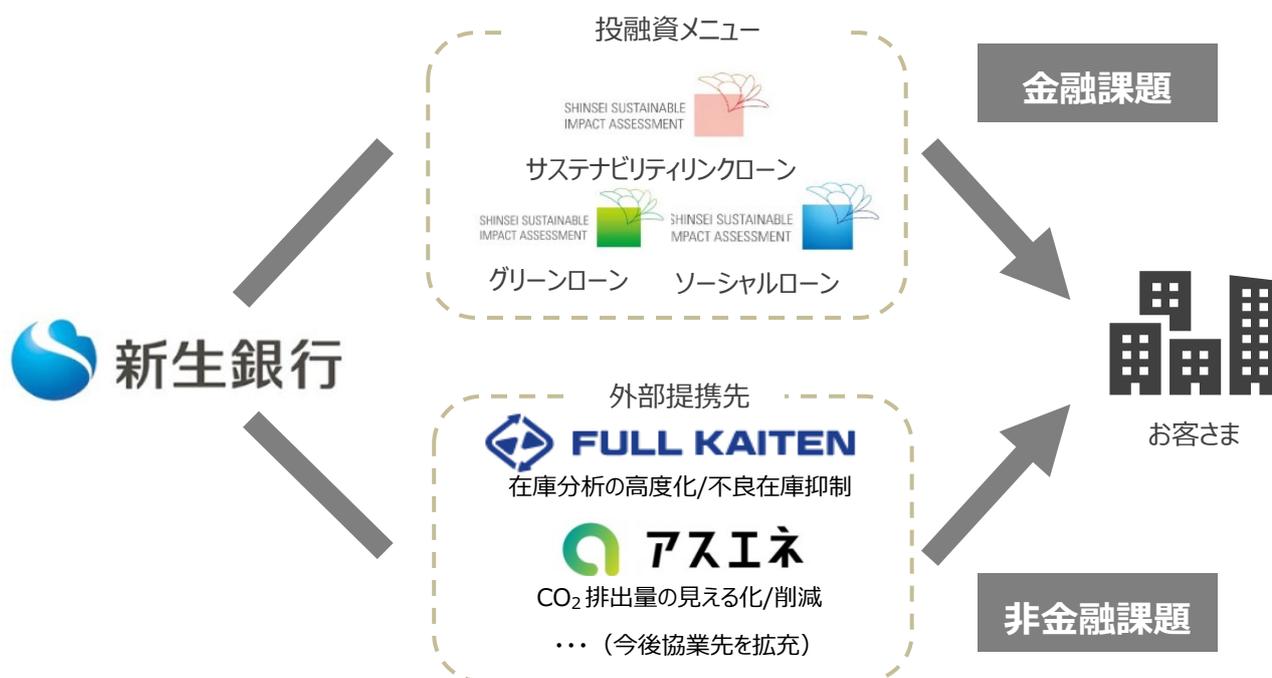
各位

会社名 株式会社新生銀行
 代表者名 代表取締役社長 川島 克哉
 (コード番号 : 8303 東証スタンダード市場)

お客様のサステナビリティ課題への包括的なソリューションの提供について
 ～非金融領域のニーズをサポートする2社と顧客紹介契約を締結～

当行は、持続可能性や ESG/SDGs の観点に、社会的インパクトの概念を融合させた「サステナブルインパクト」の取り組みを推進しております。これまで投融資を中心とした金融領域でのソリューションを提供してまいりましたが、今般あらたに非金融領域でのソリューションにも拡げてまいります。これにより、お客様のサステナビリティ経営の取り組みに関する金融・非金融両面での課題解決を実現できる体制を構築します。

第一弾として、在庫分析の高度化、不良在庫抑制を通じた廃棄ロス削減の支援と、CO₂排出量の見える化と削減の支援を開始し、外部提携先として、フルカイトン株式会社(大阪府大阪市、代表取締役 瀬川 直寛、以下「フルカイトン」)、ならびにアスエネ株式会社(東京都港区、代表取締役 CEO 西和田 浩平、以下「アスエネ」と)の間で、それぞれ顧客紹介契約を締結いたしました。



フルカイトンは、在庫の運用効率を向上させ、売上・粗利・キャッシュフローを最大化することを目的としたソフトウェアサービス「FULL KAITEN」を提供しています。「FULL KAITEN」は小売・卸売事業者さまをメインターゲットとし、保有する在庫の売上貢献度や売れ残りリスクなどをAIを用いて予測・分析することで商品力を見える化します。正価販売率の向上や不要な値引きの抑制、客単価の向上、欠品および売れ残りの解消などを支援するだけでなく、属人化していた在庫分析の業務負担を軽減します。

アスエネは、CO₂排出量見える化・削減クラウドサービス「アスゼロ」を提供しています。「アスゼロ」は法人・自治体のお客様を対象に、①自社の事業活動を通じて直接排出したCO₂排出量、②他社より供給された電気・ガス等の使用を通じて間接的に排出したCO₂排出量、③上流・下流問わず自社以外のサプライヤーによるCO₂排出量、これら3つのスコープでサプライチェーン全体のCO₂排出量を見える化するとともに、CO₂を削減するクラウドサービスとサステナビリティ・トランスフォーメーションのコンサルティングを提供しています。

新生銀行グループでは、中期経営計画「新生銀行グループの中期ビジョン」の法人ビジネス戦略において、「顧客中心主義の徹底」に基づき、お客様の事業成長を共に実現する事業パートナーとして、グループ内外の機能を活用し、顧客や社会が抱える課題解決に取り組む「事業パートナー型ビジネス」に取り組んでおります。本件は外部企業との価値共創により、それらを体現する取り組みです。今後も新生銀行は顧客中心主義の徹底に基づき、従来の金融サービスに留まらない、より一層お客さまの事業に寄り添った支援体制の拡充を目指してまいります。

<フルカイトン株式会社>

会社名 : フルカイトン株式会社
所在地 : 大阪市福島区福島 1-4-4 セントラル 70 2 階 B
代表者 : 瀬川 直寛
URL : <https://full-kaiten.com/>
事業内容 : 在庫を利益に変えるクラウドシステム『FULL KAITEN』の開発・提供

<アスエネ株式会社>

会社名 : アスエネ株式会社
所在地 : 東京都港区虎ノ門 1 丁目 17-1 虎ノ門ヒルズビジネスタワー 15 階 CIC TOKYO
代表者 : 西和田 浩平
URL : <https://earthene.com/corporate/>
事業内容 : CO₂ 排出量見える化クラウドサービス「アスゼロ」、クリーン電力サービス「アスエネ」をはじめとする脱炭素サービス事業

以上

お問い合わせ先
新生銀行 グループ IR・広報部
報道機関のみなさま: Shinsei_PR@shinseibank.com
株主・投資家のみなさま: Shinsei_IR@shinseibank.com